

令和 8 年 4 月～6 月 地域経済動向調査まとめ

① 長野県産業労働部「景気動向調査」

(1) 総括

長野県経済は、エネルギー・原材料価格の高騰などにより依然として厳しい状況が続いているものの、持ち直しの動きがみられています。

製造業では、電機・電子、一般機械を中心に AI 向け半導体関連の受注・生産が好調で、自動車関連にも持ち直しの動きがみられました。製造業全体の業況 DI は 22.3 となり、前回の 8.8 から改善し、2 期連続でプラスとなっています。

一方、非製造業では、DX 化・業務効率化・省力化に向けた IT 投資需要が堅調であるものの、物価高による経費増加、仕入価格の上昇、人手不足などが経営の重しとなっています。小売業、卸売業、宿泊業などでは厳しい状況が続いています。

(2) 製造業

電機・電子、半導体関連では、AI 関連需要の増加を背景に受注・生産が好調となっています。一般機械でも半導体関連や建設機械の需要が堅調で、自動車部品についても国内向けを中心に持ち直しの動きがみられます。

一方、原材料・エネルギー価格や人件費の上昇により、受注・生産の改善がそのまま収益改善につながっていない状況です。

(3) 非製造業

非製造業では、情報サービス業を中心に IT 投資需要が堅調です。一方、小売・卸売・宿泊などでは、物価高による消費者の節約志向や仕入価格の上昇、人手不足などが経営を圧迫しています。

今後は、単純な販売数量の増加だけでなく、価格設定の見直し、付加価値の向上、リピーターの確保、省力化などが重要となっています。

② 関東財務局長野財務事務所「県内経済情勢報告書」

(1) 総括

長野県内経済は、引き続き**「持ち直している」**と判断されています。

個人消費は緩やかに回復し、飲食・宿泊などにも回復の動きがみられます。また、製造業では生産活動が持ち直しつつあり、設備投資についても増加が見込まれています。

一方、雇用情勢は足踏み状態となっており、企業にとっては引き続き人材確保が課題となっています。

(2) 個人消費

百貨店・スーパー、コンビニ、家電量販店、ドラッグストアなどの販売額が前年を上回っているほか、飲食・宿泊にも緩やかな回復がみられています。

ただし、物価上昇が続く中で消費者の節約志向も強く、**「消費は回復しているが、価格に対する意識は厳しい」**状況と考えられます。

(3) 企業収益・設備投資

令和 8 年度の設備投資は全産業で前年比 13.1%増加見込みとなっています。一方、経常利益は全産業で 8.1%の減益見込みです。

このことから、企業では省力化・生産性向上のための設備投資を進めながら、同時に原材料費・人件費等のコスト上昇への対応を迫られていることが分かります。

③ 飯田信用金庫「飯伊地区産業経済動向」

(1) 製造業

飯伊地区の製造業は、4～6月を通じて半導体関連を中心に比較的好調に推移しました。

景況DIは、4月：27.3・5月：9.4・6月：30.6となっており、5月に一時悪化したものの、6月には大きく改善しています。

電気・精密・光学、半導体関連では、AIサーバー向けなどの需要を背景に受注が堅調に推移しています。また、機械製造でも景況好転の声がみられます。

一方、原材料価格の上昇、人材確保、生産能力の不足、人件費の増加などが課題となっており、好調な受注をいかに利益につなげるかが重要となっています。

(2) 商業・サービス業

商業・サービス業の景況DIは、4月：11.1・5月：△44.4・6月：△6.3と大きく変動しました。

4月は春の観光シーズンなどを背景に、飲食業・宿泊業で売上増加の声がみられました。一方、5月には小売・卸売・飲食業などで景況感が大幅に悪化しました。

6月には改善したものの、依然としてマイナス圏にあり、物価高による消費者の節約志向や原材料・燃料価格の上昇が引き続き経営課題となっています。

(3) 建設業

飯伊地区では、4～6月にかけて公共工事が増加傾向となりました。特に6月の公共工事入札額は前年同月比80.4%増と大きく増加しています。

一方、住宅分野は低調で、建設業では引き続き人手不足、技術者不足、資材価格の上昇などが課題となっています。

~~~~~

### ☆総合的な景気判断

長野県・飯伊地域の経済は、製造業を中心に持ち直しの動きが続いています。特にAI・半導体関連の需要が地域の製造業を支えており、飯伊地域でも4～6月を通じて比較的好調な受注が続いています。また、個人消費や飲食・宿泊などにも一部回復の動きがみられます。

一方で、原材料・エネルギー価格、人件費の上昇や人手不足が小規模事業者の収益を圧迫しており、景気回復がそのまま利益の改善につながっていない状況です。

特に小規模事業者においては、今後、適正な価格設定・価格転嫁による収益確保IT・AI・省力化設備等を活用した生産性向上観光・交流需要など新たな顧客の取り込み地域資源を活用した商品・サービスの高付加価値化ホームページやSNS、オンライン販売等を活用した販路開拓などへの取組が重要と考えられます。

また、飯伊地域では、リニア中央新幹線関連事業の進展に加え、観光・交流人口の増加も期待されています。こうした地域外からの人流や消費を、地域の小規模事業者の売上につなげていく視点も重要です。

今後は、単に売上規模を拡大するだけでなく、\*\*「少ない人員で効率よく稼ぐ」「適正な価格で販売する」「地域外から新たな顧客を呼び込む」\*\*といった取組を事業計画に盛り込むことが、持続的な経営につながると考えられます。